

編 集 後 記

○本号の出る頃には、編集委員の一人島内武文氏は東北大学教授として病院管理学講座を開いているであろう。病院管理学も一步一步確実なステップを続けてついにアカデミーの本山大学に、歩を印する事になった。あらゆる事に研究的態度を取る同君の事だから必ずや新しい分野を開いて新しい見事な花を開かす事であろう。本誌も、その成果によつてかざられる日の近からん事を祈る。

○編集委員千種先生も、東二入院御自宅静養されていたが、再びお元気になつて活躍されています。

○今月から新に編集委員に橋本寿三男氏をお願いする事にしました。同君は御承知の様に国立金沢病院の庶務課長（医師の庶務課長は一人でした）で令名をあげ、厚生省病院課から医務課の技官を

されています。御承知の様に病院原価計算で立派な業績を出しておられるから、その方面の、編集に新機軸を出されるであろう。

○本号は、前月からの引続き記事と、新しい論文ではちきれんばかりです。殊に安富徹氏の病歴整理の論文は氏が研修所を終えて、京都病院で第一に着手された仕事です。病歴整理は我々病院の最もおこなっている所であり将来は是非専任のレコードライブラリアンまでもつて行かねば、と思つています。米国では専門の大学があつて多数養成されている様な実情です。（守屋）

表 紙 説 明

写真は日本赤十字社東京血液銀行の血液貯蔵庫の一部

日 本 病 院 学 会 予 告

日	時	6 月 上 旬
場	所	東 京（会場未定）
	第 一 部 会	組織、医療等
	第 二 部 会	看護、家政、社会事業等
	第 三 部 会	事務、経理等
会	員	凡ての病院職員
演	題	締 切 5 月 15 日
	申 込 先	日 本 病 院 協 会（東京都文京区湯島）
	時 間	1 題 10 分、討論 5 分

本年度は多数の参加を希望します。尚各地の地方会の活動報告の時間をとりますから御連絡下さい。

日 本 病 院 学 会 会 長 原 素 行